

第2学年 国語科学習指導案

学 級 2年1組 男19名 女10名

指導者 伊藤 優子

学級 2年2組 男17名 女11名

指導者 藤尾 春香

1 単元名 時間を表す言葉に気をつけて,学校での自分の一日を順序よく伝えよう

教材名 「どうぶつ園のじゅうい」(光村図書2年上)

2 単元の目標

- 自分の知識や体験と結び付けて説明的な文章を読もうとしている。(関心・意欲・態度)
- ◎文章の中の大事な言葉や文を書き抜き,自分の知識や経験と結び付けて感想ををまとめ,発表し合うことができる。(読むこと(1)オ)
- 時間的な順序を考えながら,獣医の仕事やそのわけを読み取ることができる。(読むこと(1)イ)
- 条件に沿って,経験したことをもとに書くことを決め,簡単な構成の文章を書くことができる。(書くこと(1)イ)
- 言葉には,意味による語句のまとまりがあることに気付くことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ウ))

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての知識・理解・技能
・自分の知っていることと結び付けて,説明的な文章を読もうとしている。	・何について,どのようなことが,どのような順序で述べられているかを理解している。 ・自分の考えをもつために,大事な言葉や文を書き抜くことができる。 ・知識や体験と比べて感想をまとめている。	・時間の順序に沿って,自分のしたことが分かるように書いている。	・時間の順序を表す言葉を理解している。

4 単元について

(1) 児童について

1学期には,説明文「たんぼぼのちえ」を学習した。時間の順序や理由を表す言葉に着目して,たんぼぼの様子の変化とその理由を読み取り,読み取ったことをもとにたんぼぼクイズを作った。1年生にクイズを出しながら,たんぼぼの智慧を教える活動を行った。読み取りを行う際に

は、ワークシートにたんぼの様子とそのわけを書き抜き、たんぼにどんな智恵があるのかをまとめていった。毎時間、学習して分かったことやできたことと感想をふり返りとして自分の言葉でまとめて書く活動を行いながら、読み取ったことをまとめる力を付け、次の学習への意欲を高めることができる児童が増えてきた。

しかし、一人では自信をもつことができずにペア学習で友達に頼りがちであったり、教師の支援を必要としている児童も少なくない。また自分の知識や経験とを結び付けて自分の考えをまとめる力も十分ではない。

(2) 教材について

動物園の獣医の仕事は、児童に人気の高い職業の1つである。本教材ではその仕事内容が児童に理解しやすい「わたし」という視点で、日記のように時間を追いかけて書かれているので読みやすく、時間的順序を捉えるのに適している。また、動物園の略図、動物たちの写真、絵が随所に登場するので、これらを教材文の叙述に合せながら、興味をもって読み進めていくことができるであろう。例えば「朝」「見回りがおわるころ」等の時間を表す言葉が段落の冒頭に示され、時間的順序が明確なので、そこに着目させることで仕事を整理しやすい。その中で「わけ」の叙述も合わせて押さええていくことができる。さらに「毎日すること」と「今日だけのしごと」というまとまりで捉えることもでき、事柄の順序ということも合わせて指導できる教材である。また、自分が知っている医者や獣医を比べたり、人間の病気と動物の病気を比べたりする見方は、感想をまとめるときの観点にもなる、低学年が自分の力で説明文を読み進めるのに適した教材である。

(3) 指導にあたって

本単元では、「C読むこと」の「オ 文章の内容と自分の経験と結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと」「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」「B書くこと」の「イ 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること」を指導事項とする。

そこで、言語活動例「読むこと」「エ 科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想をかくこと」を具現化し「獣医の仕事について考えたことを発表し合おう」を言語活動の1つ目とし、また「書くこと」「イ 経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書くこと」を具現化し「時間の順序に沿って、学校での自分の一日をおうちの人に伝えよう」を言語活動として位置付ける。

学習材「どうぶつ園のじゅういさん」の学習において身につけた時間を表す言葉に着目しながら段落の内容を読み、文章中の大事な言葉や文を書き抜き、自分の知識や経験と結び付けて生活経験と比べながら感想をまとめる力を、学校での自分の一日を家の人に伝える文章を書く活動に生かすことで、付けたい力の定着を図ることができると考える。

第一次では、単元のゴールのイメージを膨らませ、毎時間目的意識をもたせて学習に取り組むことができるように、教師が作成した「わたしの学校での一日」の例を提示する。毎時間の導入では、この単元のゴールと本時の学習の関連を意識させながら、本時のゴールの明確化と今まで習ったどんな力が使えそうかの見通しをもたせ、学びの振り返りを位置付けるものとした。

第二次の獣医の仕事を読み取らせていく活動では、「時間的な順序」を表す言葉や「わけ」を表す言葉に気を付けさせながら、獣医の仕事とそのわけや工夫を見つけさせる。自力解決やペア学習、全体交流の場を設定し、自分の考えをもたせたり自分と友達の考えを比べたりする活動を通して、「仕事」と「わけ」や「工夫」を読み分ける力を付け、感想を交流できるようにする。その際、挿絵を使った視覚的な工夫やワークシートのパターン化、色分けしたサイドラインの活用などを工夫する。

第三次では、読み取った説明文全体についての感想を交流した後、学校での自分の一日をおうちの人に伝える文章を書く。その際、時間を表す言葉を使って順序よく書くことや既習の文章構成「はじめ」「中」「終わり」を考えて書けるようにさせる。

5 研究に関わる手立てについて

(1) 手立て1 身に付ける力を明確にした言語活動の工夫について

- ・ゴールのモデルとなる文の提示
- ・全文のだいたいを捉えることができるワークシートの工夫
- ・自力解決に自信をもたせるためのペア活動
- ・進んで活動に取り組めるワークシートのパターン化

(2) 手立て2 効果的な振り返り活動の工夫について

- ・その時間の学習で「分かったこと」「できたこと」を振り返り、達成感につなげる。
- ・前時の振り返りを本時の導入に取り入れ、見通しをもたせる。
- ・単元最後の振り返りと初発の感想と比べさせ、「単元の初めに比べて順序よく説明する文章を読めるようになった。」「この力を、他の文を書く時に活かしたい。」という意欲につなげ、身に付けた力を日常に活かしていこうとする意識を高めていく。

6 単元指導計画（14時間）

段階	時間	学習目標	学習活動	指導の手立て☆評価（方法）
つかむ （ 二 次）	1	○獣医の仕事について話し合い、全文を音読し感想を発表し合い、獣医の仕事を読み取り、参考にして自分の学校での一日を順序よく文章に書き、家族に伝える活動を行うこと知り、意欲をもつことができる。 <単元のゴール> 学校での自分の一日を順序よく伝えよう。	・動物園の獣医について知っていることを話し合う。 ・全文を読んで感想を発表し合う。	・単元のゴールのイメージがつかめるように、獣医について知っていることを交流し、獣医の日記のように「学校での自分の一日を順序よく伝えよう」という単元のゴールを確認する。 ☆獣医について知っていることや感想をもち発表している。（感想カード）
	2	○挿絵と時間的順序を表す言葉を手がかりに「中」の仕事をも7つに分け、内容のだいたいをつかみ、学習の課題をつかむことができる。	・挿絵や写真を見ながら時間の順序を表す言葉に着目し仕事を7つに分ける ・学習計画を立てる。	・1時間毎の学習活動が「学校での自分の一日」につながることを意識させる。 ☆挿絵を見ながら仕事を7つに分ける。（観察・ワークシート）

わ か る (二 次)	3	○朝の仕事とそのわけを読み取ることができる	・時間的順序を確かめ、朝の見回りの仕事とそのわけを見つけながら読む。(仕事1)	・時間を表す言葉に気を付けさせる。 ・わけを表す表現に気を付けさせる。 ☆時間を表す言葉に着目し、朝の仕事とそのわけを読み取っている。 (発言,ワークシート)
	4	○見回りがおわるころに行った仕事とそのわけや工夫を読み取ることができる。	・時間的順序を確かめ、いのししのおなかを調べる仕事とそのわけや工夫を読み取る。(仕事2)	・時間を表す言葉に気を付けさせる。 ・わけを表す表現に気を付けさせる。 ☆時間を表す言葉に着目し、2つめの仕事とそのわけや工夫を読み取っている。 (発言,ワークシート)
	5	○お昼前に行った仕事とそのわけや工夫を読み取ることができる。	・時間的順序を確かめ、にほんざるの治療とそのわけや工夫を読み取る。(仕事3)	・時間を表す言葉に気を付けさせる。 ・わけを表す表現に気を付けさせる。 ☆時間を表す言葉に着目し、3つめの仕事とそのわけや工夫を読み取っている。 (発言,ワークシート)
	6 (二組 本時)	○お昼過ぎに行った仕事とそのわけや工夫を読み取ることができる。	・時間的順序を確かめ、フラビーの治療とそのわけや工夫を読み取る。(仕事4)	・時間を表す言葉に気を付けさせる。 ・わけを表す表現に気を付けさせる。 ☆時間を表す言葉に着目し、4つめの仕事とそのわけや工夫を読み取っている。 (発言,ワークシート)
	7	○夕方に行った仕事とそのわけを読み取ることができる。	・時間的順序を確かめ、ペンギンの治療とそのわけを読み取る。(仕事5)	・時間を表す言葉に気を付けさせる。 ・わけを表す表現に気を付けさせる。 ☆時間を表す言葉に着目し、5つめの仕事とそのわけを読み取っている。 (発言,ワークシート)
	8 (二組 本時)	○一日の終わりと動物園を出る前の仕事とそのわけを読み取ることができる。	・時間的順序を確かめ、日記を書く仕事とお風呂に入るわけを読み取る。(仕事6・7)	・時間を表す言葉に気を付けさせる。 ・わけを表す表現に気を付けさせる。 ☆時間を表す言葉に着目し、6つめと7つめの仕事とそのわけを読み取っている。 (発言,ワークシート)

	9	○獣医の一日を整理してまとめることができる。	・獣医の一日を整理してまとめる。	・時間を表す言葉に気を付けさせる。 ・わけを表す表現に気を付けさせる。 ・いつもする仕事とその日にあった特別なこととに分けさせる。 ☆獣医の仕事とそのわけ,工夫を順序に従ってまとめることができる。 (発言,ワークシート)
	10 11	○獣医の仕事について,自分の知識や経験と比べて感想や考えもち,発表し合うことができる。	・獣医の仕事について,自分の知識や経験と比べ,考えたことや感想を書いて発表し合う。	☆獣医の仕事について,自分の知識や経験と比べて,考えたことや感想をもつことができる。(発言,ワークシート)
活 か す (三 次)	12 13 14	○学校での一日を順序よく伝える文を書き,家族に伝える。	・学校での一日を順序よく伝える文を書き,発表して交流する。 ・家族に伝える。	☆時間の順序に沿って,自分のしたことが分かるように学校での一日の作文を書くことができる。 (ワークシート)

7 本時の指導(2組 6/14時間)

(1)目標

お昼すぎに行った仕事のわけや工夫を読み取ることができる。

(2)展開

段階	学習活動◆予想される児童の反応	○指導上の留意点 【支援と評価】
つかむ (5分)	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で学習した3つ目の仕事を想起する。 ・お昼すぎに行った仕事の確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><学習課題> ワラビーのちりょうのわけやくふうをくわしく読もう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆はぐきのちりょうのわけは,見つけれられるかな。 ◆くふうは書いてあるかな。 	<p>○前時は,お昼前ににほんざるに薬を飲ませた獣医の3つ目の仕事があったことを確認する。</p> <p>○⑤の「いつ」「獣医さんの仕事」の確認をする。</p> <p><手立て2></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本時の学習のゴールは,「ワラビーのちりょうのわけや工夫を読み取る。」を確認し,そのために,わけを表す言葉を見つければよいという見通しをもたせる。</p> </div>

深める
(30分)

- 2 ⑤を音読して、わけや工夫を見つける。
- ・わけを表す文、工夫を表す文に色分けしサイドラインを引く。(自力解決)
 - ・友達とサイドラインを引いたところを確かめ合う。(ペア学習)

- 3 わけと工夫を話し合い、ワークシートに書きまとめる。(全体交流)
- ◆ばいきんが入ってはぐきがはれているのが見付き、ちりょうをすることになっていたから。
 - ◆あばれないように、3人のしいくいんさんにおさえてもらって、ちりょうをした。
- ・今日の仕事は、「毎日すること」か「その日だけしたこと」かを確認する。

- 4 初めて知ったこと、おどろいたこと、自分と比べて気づいたこと、感じたことをペアで話し合い、短冊カードに書く。
- ◆じゅういさんがはぐきのちりょうまですることをはじめて知りました。
 - ◆おさえてもらってちりょうするのが、大へんだなと思いました。
 - ◆はいしゃでちりょうした時にますいをしてもらったけど、ワラビーもますいをするのか気になりました。

- わけや工夫を見つけながら、音読させる。
- わけを表す文に青線、工夫を緑線でサイドラインを引かせ、自力解決させる。

<手立て1>

ペアで話し合いを行うことで、自分の考えを伝えたり、整理したり、ヒントをもらったりする機会を設ける。友達と意見交流し、自信をもって全体交流にいけるようにする。

- わけを表す、「のです。」「ので」に着目させる。
- ねらいに沿って、線を引いている児童の文を全体で確かめ合う。

<手立て1>

ワークシートをパターン化して書く活動に進んで取り組めるようにしたり、ペアで思考操作をできるように考えを項目ごとに書いたりしておく。

【評価】

お昼すぎの獣医の仕事のわけや工夫を見つけて、サイドラインを引くことができている。わけや工夫をワークシートにまとめることができる。(発言・ワークシート)

【支援】

ちりょうをするわけは、わけを表す表現から見つけさせる。くふうは、挿絵を使って支援する。

- 自分の知識や経験に基づいて考えさせ、短冊カードに書かせる。
- 早く書き終わったペアは、書いた内容が初めて知ったこと、驚いたこと、自分と比べて気づいたこと、感じたことのどの考えなのかをペアで考え、分類させる。
- タイマーを使い、時間を区切る。

振り返る (10分)	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p><手立て2></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><振り返りの観点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で分かったこと できたこと </div> <ul style="list-style-type: none"> ◆わけをあらわすことばの「ので」や「のです。」を見つけてわけを見つけることができた。 ◆友だちと話合っ、くふうを見つけることができてよかった。 <p>6 次時の予告をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明日の学習を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習について振り返り、認め、励ます。 ○本時の学習の感想なども大事にして、達成感をもたせる工夫をする。 ○早く書くことができた児童には、チャレンジとして、「友達から教えてもらったこと」「次の学習に頑張りたいこと」も書くように指示する。 <p>○次は、夕方に行った獣医さんの仕事について詳しくみていくことを伝える。</p>
---------------	---	--

(3) 板書計画

ふうりかえり うわかりました。 う思いました。	《かんじたこと》 *短冊カード貼る	《じぶんとくらべて気がついたこと》 *短冊カード貼る	《おどろいたこと》 *短冊カード貼る	《はじめて知ったこと》 *短冊カード貼る	みんなが考えたこと くふうは、() ()です。	いかだい どうぶつ園のじゅうい いらびーのちりょうのわけとくふうをくわしく読もう。	いらびー の写真
-------------------------------	-------------------	----------------------------	--------------------	----------------------	---------------------------------	---	-------------

7 本時の指導（1組 8 / 14時間）

(1) 目標

一日の終わりの獣医の仕事のわけを読み取ることができる。

(2) 展開

段階	学習活動 ◆予想される児童の反応	○指導上の留意点 【支援と評価】
つかむ (5分)	<p>1 本時の学習課題をつかむ。 前時で学習した5つめの仕事を想起する。 ◆ペンギンを助けた。 ◆獣医さんはたくさんの仕事をしている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><学習課題> 一日のおわりにじゅういさんがするしごとのわけを読み取ろう。</p> </div> <p>◆終わりの仕事は日記を書くこと。お風呂に入ること。 ◆わけも見つけよう。</p>	<p>○前時は、夕方にペンギンのボールペンを吐かせてたすけた獣医の5つ目の仕事があったことを確認する。 ○掲示により夕方までに行った仕事をふり返る。 〈手立て2〉 本時の学習のゴール「一日の終わりの獣医の仕事とわけを読み取る。」を確認し、そのためには、わけを表す言葉を見つければよいという見通しをもたせる。</p>
深める (30分)	<p>2 ⑦⑧を読んで、仕事のわけを見つける。 ・わけに青色のサイドラインを引く。 (自力解決) ・友達とサイドラインを引いたところを確かめ合う。 ◆つぎに同じようなびょうきやけががあったときによりよいちりょうをすることができるのです。 ◆どうぶつの体には、病気のもとになるものがついていることがある。 ◆それを外にもち出さないため。 (ペア学習)</p> <p>3 一日の終わりの獣医の仕事とわけをまとめる。 ・一日の終わりに獣医がする仕事のわけを全体で話し合い、ワークシートに書く。 ◆病気のもとを外にもち出さないためにお風呂に入る。 ◆～のです、～ためを見つけるとわけが見つかる。</p>	<p>○時間を表す言葉と仕事を確認させる。 ○毎日行う仕事であることを捉えさせる。 ○わけを見つけながら、音読させる。 ○わけを表す文に青色のサイドラインを引かせ、自力解決させる。 〈手立て1〉 ペアで話し合いを行うことで、自分の考えを伝えたり、整理したり、ヒントをもらったりする機会を設ける。友達と意見交流し、自信をもって全体交流に参加できるようにする。 ○わけを表す「だから」「のです。」に着目させる。 ○何のために日記をかくのかを全体で確かめ合う。 ○わけの中でも大事な言葉はどれか考えさせる。 ○「それ」がさす内容を読み取らせ、動物園でお風呂に入るわけを理解させる。</p>

	<p>◆よりよいちりょうをするため日記をか く。</p> <p>◆病気のもとをもちださないためにお風 呂に入る。 (全体交流)</p> <p>4 一日の終わりに獣医さんがする仕事に ついて考えたことを話し合う。</p> <p>◆動物園でお風呂に入ってから家へ帰る ことを初めて知りました。</p> <p>◆日記を書くことは、ちりょうをするため に大事なことだと思いました。自分たち の日記とは、少し違うと知りました。</p> <p>◆獣医さんは一日中仕事がたくさんある ので大変だと思いました。</p>	<p>〈手立て1〉</p> <p>ワークシートのパターン化により、書く 活動に進んで取り組めるようにする。3次 の言語活動にも生かせるようにする。</p> <p>【評価】</p> <p>一日の終わりの獣医の仕事のわけを見 つけて、サドラインを引くことができてい る。わけをワークシートにまとめることが できる。 (発言・ワークシート)</p> <p>【支援】</p> <p>日記を書くわけやお風呂に入るわけを わけを表す表現から見つけさせる。</p> <p>○一日のおわりの書き方は、自分の一日を伝え るときにも使えそうであることを意識付ける。</p> <p>○初めて知ったこと、おどろいたこと、自分と 比べて気づいたこと、感じたことを発表させ る。</p>
<p>振り返る (10分)</p>	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>〈手立て2〉</p> <p>〈振り返りの観点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習でわかったこと、 できたこと ・友達から学んだこと <p>◆一日の終わりの仕事がわかった。</p> <p>◆わけを表す言葉「～のです」を見つけて わけを見つけることができた。</p> <p>◆日記はよりよいちりょうをするために 書くと分かった。獣医さんはすごいな。</p> <p>◆病気のもとを外に出さないためにお風 呂にはいると分かった。</p> <p>◆ペアで話し合って、大事な言葉が分かっ た。</p> <p>6 次時の予告をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明日の学習を知る。 	<p>○本時の学習について振り返り、認め、励ます。</p> <p>○振り返りの文末を提示して、選んで書かせ る。「～わかりました。」「～できました。」</p> <p>○本時の学習の感想なども大事にして、達成感 をもたせる工夫をする。</p> <p>○早く書くことができた児童には、チャレンジ として「友達から教えてもらったこと」「次 の学習に頑張りたいこと」も書くように指示 する。</p> <p>○次は、獣医の仕事を全部振り返って、感想を 書いて発表し合う。その後、自分の一日を書 くことに挑戦することを確認する。</p>

(3) 板書計画

かだい

どうぶつ園のじゅうい

一日のおわりにじゅういさんがするしごとの
わけを読みとろう。

いつ しごと わけ(青)
毎日するしごと

絵

一日のおわりには、○○を書きます。わけは、
つぎに同じようなびょうきやけがあつたとき
によりよいちりようをするためです。

どうぶつ園をでるまえには、お○○にはいま
す。どうぶつにはびょうきのもとがついているこ
とがあります。それをもち出さないために体をあ
らわなければいけないのです。

考えたこと

はじめて知ったこと

- ・日記はどうぶつたちのために書いているんだ。
- おどろいたこと
- ・どうぶつ園でおふろにはいるのでびっくりした。
- 自分とくらべたこと
- ・じゅういさんはたくさんしごとがやりたいへんだ。

ふりかえり

くわかりました。できました。
く思いました。